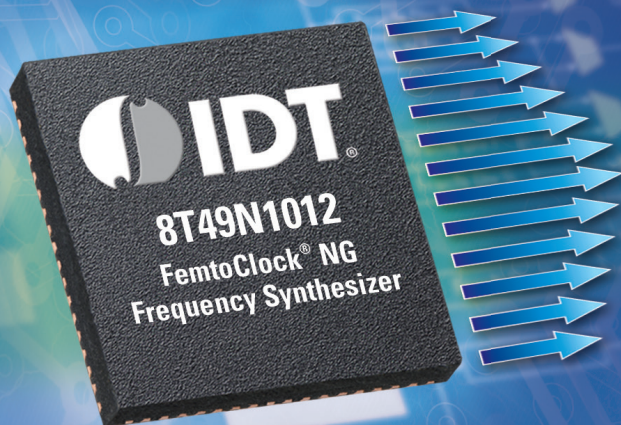




独自の10本の
周波数で最大12本の
プログラマブルな
クロック出力を実現

特徴

- 12本の差動出力または24本のLVCMOS出力を供給
 - 8本の分数分周器が最大8本の完全に独立した出力周波数を供給
 - 2つの整数分周器がさらに4本の出力を供給
- 低位相ジッター: 12kHz~20MHzの範囲でRMS位相ジッター 500 fs未満
- 差動出力周波数: 8kHz~1GHz (最大)
LVCMOS出力周波数: 250 MHz
- 柔軟な入力オプション
 - 基本モード水晶: 10~40MHz
 - リファレンス入力: 10~600MHz
- 柔軟性
 - ワンタイムプログラマブル (OTP) 型不揮発性メモリ
 - I²Cや外部EEPROMからレジスタ設定可能
- 豊富な機能
 - PLLロック喪失 (LOL) モニター
 - 入力信号喪失 (LOS) アラーム
 - 分数分周器が信号精度を向上
 - DCOモード

FemtoClock® NG周波数シンセサイザ 8T49N1012 は、最大12本のプログラマブルなクロック出力を生成できる、柔軟性に優れ、コンフィギュラブルなシングル分数分周 PLL デバイスです。2つの整数分周器と8つの分数分周器を搭載しており、8 kHz から 1 GHz までの範囲で最大8本の独自出力周波数、10本の差動出力周波数を生成できます。72ピンQFNパッケージで提供されるこのデバイスは、クロックツリー全域を実質的にカバーし、基板スペースを抑えつつ、確かな性能を実現します。

8T49N1012は、差動クロック、シングルエンドクロック、水晶に対応し、いずれかの入力クロックにPLLがロックします。また、PLLロック喪失 (LOL) および入力信号喪失 (LOS) 向けの入力クロックのモニターなどのリッチ機能を備えています。

柔軟性と容易なプログラマビリティが、様々なクロックツリーでの使用を可能にし、技術的努力を低減します。I²Cインタフェースを通じてプログラム可能で、マスター機能もサポートしており、レジスタ設定を外部EEPROMから読み取ることが可能です。IDTの Timing Commander™ ソフトウェアツールにより、迅速かつ容易にデバイスを再設定できます。

対象アプリケーション

- さまざまなアプリケーションのニーズ、特にエンタープライズクラスのシステムに最適
- 10GbE / 40GbE のインタフェースタイミング
- 通信およびネットワーク機器
- 汎用アプリケーション
 - バックプレーン
 - USB
 - オーディオ機器
 - ビデオ

サンプル請求、資料その他詳細については、
idt.com/8T49N1012 をご参照ください。

IDT, the IDT Logo, FemtoClock and Timing Commander are registered trademarks or trademarks of Integrated Device Technology, Inc. in the United States and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. ©2016 Integrated Device Technology, Inc. All Rights Reserved.

PB_8T49N1012_REVA1_0516_J